

あなたに対する神のご計画を偶像にしてはいけない

2013年2月1日 アシェル・イントレーター

ダニエル書の2章と3章両方に似た表現があります。ツエレム・ディ・ダハブ (tselem di dahab)、その意味は「金の像」です。ここでの「像」という単語は、創世記 1:26 にある、私たちは神の「似姿(像)」と同じ単語が使われています。

二章では、ネブカデネザルは驚くべき夢を見、それは預言者ダニエルによって超自然的に解き明かされました。それはネブカデネザルの運命と来るべき次世代の歴史が明らかにされたものでした。夢の中で、そこには巨大な立像があり、その頭は「純粋な金」で出来ていました(ダニエル 2:32)。預言者ダニエルはネブカデネザル王に宣言しました。「あなたは金の頭である」(ダニエル 2:38)。

(ダニエル 3:1)のすぐ後、ネブカデネザルは金の巨大な像を作ります。そして世界中の人々にそれにひざまづくよう強要します。誰でも拒否するものは、残忍な方法で殺されるだろうと。彼は「金の像」を自分の進むべき道であると示し、それを偶像としました。彼は、もし誰でも彼の進むべき運命が崇拜の対象であることに感銘を受けなければ、激怒しました。

何と愚かなことをしたのでしょうか！自分の運命(訳注:あるいはクリスチャンにとっては「神のご計画」)を偶像化することは。そういえば、現代の多くの人々も同じ事をしてしています。彼らは主の恵みによって与えられた栄光ある神からの召命をとり、彼らがどれだけ「賜物に満ちあふれているか」を皆に伝えられる事を期待しているのです。もし誰かが、彼らの神のご計画を理解せず、それを賛美しなければ、彼らは気分を害するのです。これはネブカデネザルによる代の偶像礼拝の現代の霊的バージョンなのです。

戦争の噂とイスラエル観光

アリエル・ブルーメンソールとヨナタン(ジョナサン)・ムーア

イエシュアが弟子たちに終わりの時について教えた時、(マタイ 24:6、マルコ 13:7)、彼は本物の戦争と「戦争の噂」について預言しました。ここイスラエル(訳注:現代の)の短い歴史の中、私たちはいくつかの実際の戦争と軍事的「作戦」があり、「戦争の噂」はいつもつきまとっています。最近、イラン、シリア、レバノンそしてエジプトに関する噂があります。この種の不確かな状況に基づく推測はイスラエル経済や観光の重要な部分に対し悪影響を及ぼします。

2013年においてすでに多くのクリスチャンのツアーグループがキャンセルしてきました。多くの地元

の信者たちはサルエルツアー (www.sareltours.com) など、観光産業や旅行会社に携わっています。この記事を読まれている読者たちにお勧めしたいことは、もしあなたがイスラエルに来ることを計画しているならば、どうぞキャンセルしないで下さい！そしてもしあなたがまだ計画を始めていないなら、どうぞ来て下さい！戦争の噂はいつもここにあります。もしあなたが「状況が沈静化し戦争の噂がなくなってから行くべきだ」と考えておられるならば、あなたがたはイスラエルにいつまでたっても来る事ができないでしょう！

これは確認されていることですが、観光はイスラエルの最良の収入源の一つであるのです。あまり知られていない経済概念である「貨幣流通速度」ですが、それはお金がどれぐらい使われ、再度使われるかその頻度を表すものです。ツアーはガイド、運転手、ベルボーイ、ウェイター、受付員、そしてマネージャーを雇うのです。これらの人々は収入を車のメカニック、ピアノレッスン、食料品、子供の用品などに使用するのです。

究極的なウイン-ウイン関係(訳注:誰もが益を受ける関係)について神に賛美します。イスラエルへの観光客はイエス様が歩かれた場所を歩くことによって、大いなる霊的な洞察力を信仰の中で受けます。そして一方で観光客はイスラエルの人々に物質的な面で大いに助けることができます。

レネイトが帰ってきた

エルサレム司法研究所 (jjj.org.il) の重要な法的勝利として、レネイト・カウフマンが今週イスラエルに到着したことでした。彼女は弁護士であるミカエル・デッカー氏の出迎えを受けました。2012年7月、内務省との市民権を得るための長い闘いの後、メシアニックジューであるレネイトは市民権へとつながる永住権が与えられました。

レネイト(75歳)はホロコースト生き残りで、彼女はテレジン強制収容所で父を亡くしました。デッカー弁護士は「彼女の父はナチに殺されるほど、十分なユダヤ人でありながら、ここイスラエルにおいて内務省にとって彼女は十分なユダヤ人ではないのです。」と引用しながら述べました。

レネイトの物語と窮状はチャンネル 2 で放送された彼女に対するインタビューの後、多くのイスラエル人がそれを追跡しました。インタビューの間、レネイトはイスラエルで残りの人生を過ごしたいと話し、そして言いました。「私はホロコーストの生き残りです。ベン・グリオンは、すべてのホロコーストの生き残りはイスラエルを自分の祖国であると主張する権利があると述べ、それが私のしたいことなのです。」

シリア

シリアでの内戦が続いています。アサド政権は不安定です。シリアには生物化学兵器と長距離ミサイルが備蓄されています。これらの兵器はヒズボラの手で奪取され、または運搬される可能性があります。今週イスラエルの戦闘機がシリアとレバノン国境を越えようとしていた長距離ミサイル運搬車を爆撃しました。イスラエルはジレンマに直面しています。生物化学兵器への攻撃は壊滅的な結果を招きかねません。しかし一方で、もしこれらの兵器がテロリストの手に落ちた場合、最終結果はよりいっそう破滅的なものに成りかねません。どうか、ネタニヤフとイスラエルが軍事的にどう対処するか、それについての知恵が与えられるようお願い下さい。

連立

連立に関する政府メンバーによる合意と政策ガイドラインはまだ最終合意に達していません。鍵となる問題はネタニヤフとラピードの間の協力です。徴兵の公平性(訳注:超正統派ユダヤ教徒には現在徴兵義務はないが、それを彼らに課そうとする事)、政府内での超正統派の政党の影響などがあります。どうか、義なる連立と政策的な決断についてお祈り下さい。

エステル断食

2月21日木曜日の伝統的な「タアニット・エステル」(エステル断食)を皆さんのカレンダーに記して下さい。イスラエルでは、いくつかのコングリゲーションと祈りの家がエステル書のテーマに従って、イスラエル、教会そして諸国のための断食と執り成しを一緒に行います。私たちは皆様をご招待したいと思います。教会やシナゴークなどどこでお住まいであろうが、私たちの12時間連続の祈り、賛美そして預言に加わって下さい。(イスラエル時間の6:00AMから6:00PM)。祈りの詳細については追ってお知らせします。

Youtube メッセージ

カンザスシティの世界祈りの家にて録画された、アシエルのメッセージ「大患難時代における勝利」をお楽しみください。視聴するには[こちら](#)をクリックして下さい。